



みろく



神原 勝太郎

年、勝太郎は「勉強よりも一家の暮らしの方が大事だった」と話したということですから、わずか10歳の少年の肩に、家族12人を養う重要な働き手としての責任が

う決断をします。

そのことについて後年、勝太郎は「勉強よりも一家の暮らしの方が大事だった」と話したということですから、わずか10歳の少年の肩に、家族12人を養う重要な働き手としての責任が

その人間とは、江戸時代後期、沼隈の旧家である神原総本家から分家した「嘉平治」という屋号を持つ家の3代目、神原勝太郎（明治17年（1884年）8月23日生まれ）です。



常石グループの 成り立ち

ファミリー報『みろく』の読者なら、ほとんどの人が知っている名前だと思えますが、一代で今日の常石グループの土台をがっちり固め、未来の可能性までも示唆した立志伝中の人物です。「ほとんどの人が知っている名前」と書きました。もっと言えば、読者のほとんどの人が神原勝太郎の血を引いていると言い換えても構いません。

この神原勝太郎の生まれた分家「嘉平治」は、父母と勝太郎を含めた10人の兄弟、合わせて12人が暮らすとても貧しい家でした。そのため勝太郎は尋常小学校3年の3学期を待たずに、自分の意志で学校を辞めるという決断をします。

海とともに生きる①

備後の地「常石」を

ファミリーのルーツとして

のしかかっていたのです。（この辺の詳しい話は『神原勝太郎物語』を読んでください）



19歳の船長の 果てしない夢

雑魚売り、菓子売り、備後表の織職人など、幼い頃からさまざまな職業を経験してきた勝太郎が最もイキイキと仕事に励むことができたのは、「船乗り」という仕事でした。

16歳で瀬戸内海を行き来する木造船の船夫になると見る間に頭角を現し、わずか3年後の19歳の時には、沖乗り船頭として船1隻を預かる船長にまで出世してしまします。

船長に出世したとはいえ、操る船はあくまでも船主のもので、自分の持ち船でなければ、頑張ってもただ利益を上げて、手にすることができないのは決められた給金だけなのです。

「いつか自分の持ち船を駆って瀬

戸内海で縦横無尽に稼ぎたい」勝太郎の夢は広がっていきました。



「住吉丸」 運命の船から 新たな歴史が 始まった

船長となつてから1年後、勝太郎が20歳の時（明治36年（1903年）に当時の金額で400円（現在の400万円くらい）という大金で、土佐（高知県）から中古の木炭輸送船「荒神丸」を購入しました。

資金の調達には、神原総本家をはじめ多くの支援者が、努力の人である勝太郎を信頼して用立ててくれたものも多く含まれていました。多くの人の信頼によって手に入れることのできた「荒神丸」は、購入後常石に回航されて、ここで石炭運搬船に改造されました。

新たに「住吉丸」と名づけられ



神原総本家

たその船の、詳しいスペックは残っていません。それでも「積載量は150トン」というわずかな手がかりから、江戸時代の弁財船（千石積み1150トン）を改造して、耐久性と操作性に優れたジャンク型の帆とそれを張るメインの帆柱、さらに機動性を高める役目を果たすスパンカーを張るための第2の帆柱を備えた、和船と西洋型帆船の折衷型の船だったことが想像できます。

勝太郎がこの船を手に入れた時から、今日の常石グループがスタートします。その意味で「住吉丸」こそ、常石グループのその後の展開と、第5世代まで広がった今日のファミリーの礎を築いた運命の船だったと言えるのです。

住吉丸のスペック

(明治初期の弁財船=千石積みから推定)

全長	約30メートル
全幅	約7メートル
甲板から船底までの深さ	約2.4メートル
必要乗組員	10人超
動力	25反前後のメインの帆と操作性を確保するためのスパンカーのみ



弁財船



フラッグシップの喪失

「住吉丸」を手に入れてからの2年間で上げた利益をもとに実行したのは、2隻目の船の購入と「住吉丸」の大改造です。

この時、勝太郎が実感したのは、自らの持ち船で力一杯努力すれば、努力した分の結果を得られるということでした。わずか2年で、中古とはいえ新たな持ち船を手に入れ、さらに「住吉丸」の大改造までも賄うだけの利益を上げることができたわけです。

勝太郎、まだ少年の面影を残す22歳。「雑魚売りの勝ちゃん」は2隻の船で瀬戸内海に乗り出す若き船主となったのです。

新たに手に入れた持ち船は「天寿丸」（積載量90トン）。これも和船をベースに、石炭輸送船として改造された船でした。一方の「住吉丸」については、輸送量を増やすために全長、全幅、深さすべてに拡大のための大改造が施され、当初150トンだった積載量は210トンと大幅に拡大され、沼隈周辺では一番大きな石炭輸送船になりました。

しかし、この「新・住吉丸」が



昔の沼隈の風景



そして伝説の「天社丸」

期待通りの輸送効率で利益を上げたのは、大改造からわずか3航海。4航海目に大分県姫島沖で爆弾低気圧に遭遇し、あっけなく沈没してしまつたのです。

第1世代創業者、神原勝太郎の大ピンチです。

海運業者がフラッグシップを失つたことは大ピンチです。しかしこの時出した勝太郎の結論は、①軌道に乗りつつあった海運業をこのまま続ける、②そのために新しい船を買う、③その費用のために「天寿丸」を手放す、というもの。つまり「前進あるのみ」という積極策でした。

この結論を出してからほどなく、広島で売り船が出ているという情報が入ります。価格は

🚢 新たな船のスペック

メインマストとスクナー型の帆を張る
第2の帆柱を備えた和船と西洋船の折衷型

主要目的	石炭輸送
最大積載量	330トン

2500円。「住吉丸」の6倍強
という高価な買い物です。購入
資金の一部として「天寿丸」を
700円で売り、これに亡母の兄
に当たる大崎上島の伯父・元吉
弥太郎氏をはじめとする親戚、
知人の援助などが加わり、ついに
広島で売りに出された船は勝太郎
の新たな持ち船となりました。明
治40年（1907年）、勝太郎は
24歳になっていました。

失った「住吉丸」と700円で
売った「天寿丸」を合わせても、
さらに30トンも多い積載量を誇
る、当時の瀬戸内海航路を往来
した木造石炭輸送船の中でも最
大クラスの大船でした。

そして、この船の名前が「天社
丸」。この「天社丸」こそ、勝太
郎の起こした常石の海運会社、さ
らには創業者自宅の屋号「天社」
の大元となった船の名前だったの
です。また、これから後の海運業
の隆盛とは切っても切れない多く

の船の名前、さらにはグループの
アイデンティティともいべき「天」
という文字の始まりだったのです。



成功をもたらした 幸運の船

多くの人々の支援と勝太郎の
努力によって手にした2500円
もの資金を投入して購入した「天
社丸」は、幸運の船でした。例
えば輸送契約直前に運賃が跳ね
上がり、大きな利益を得ることが
できました。空荷覚悟の帰路航
海に、突然大きな輸送依頼が飛
び込んでくることもしばしばでし
た。もちろん、幸運は利益の面
だけではありません。出港準備に
手間取ったおかげで、突然の大し
けを回避できた、などなど、「幸
運の船」と言うより他に言いよう
のない不思議な事柄が数多くあっ
たと語り継がれています。

こうして「天社丸」は、大修
理をはさんで6年もの間、北九州
の若松と大阪の安治川を結ぶ石
炭の瀬戸内航路で大きな利益を
上げることになったのです。その
おかげで「住吉丸」と「天社丸」
を購入する時に支援してくれた父
方の親戚（神原本家など）や母
方の親戚に当たる大崎上島の親戚
（元吉家）の人々に恩返しをする
ことができました。



海に生きる決意

「天社丸」の活躍によって、勝
太郎はさらに持ち船を増やしてい
きました。ほとんどは中古の船
を手に入れ、それを自らの作業所
（塩浜造船所）で改造して使用
するという方法で増やしていったの
です。改造だけではありません。
点検と修理・修繕もここで行うよ
うになっていたのです。

そうなつてくると、当然のよう
にさらに新しい夢が生まれました。
「船を造る」という新たな夢で
す。塩浜造船所で働く人たちは、
新船建造にも優れた腕を持つ船大
工でした。勝太郎はここで、実験



昔の造船風景

的に自分の船を新造することを
決断したのです。こうしたいきさ
つで新たに建造されたのが、「第
4号天社丸」。積みトン数370
トンの巨大な船体は、初期の海
運業を支えた「天社丸」に代わ
る新たなフラッグシップとして、
瀬戸内の石炭輸送に活躍してい
きました。

こうして「海運」とともに「造
船」という新たな柱が打ち立てら
れ、「海とともに生きる」企業グ
ループが産声を上げたのです。

※シリーズとして不定期で続きます



楽しかったサマースクール



イギリス・スイス



昨年のサマースクールで、

子どもたちがイギリス・スイスに行きました。

神原 牧穂さん、武田 華穂さん、神原 璃穂さん、

神原 小百合さんが感想を寄せてくれました。

サマースクールの思い出

中・高生最後の短期留学

神原 牧穂さん



この夏、私は中・高校生の英語の集大成として3年前に初めて行った場所を選びました。

初めての時はイギリスのBede'sのDorsetと言う所に3週間参加しました。一番記憶に残ったことは「何も話せなかった自分」でした。そしてその悔しい経験から、私は学校で英語の授業を受ける目的を「テストで良い点を取るため」ではなく、「少しでも話せるようになるため」と変えて、勉強していました。今でもその気持ちに変わりはありません。

当日、イギリスのヒースロー空港に着いたとき、私は懐かしいなと思いながらDorsetの先生について行きました。そしてバスに乗り込み、各学校を回り、最後にDorsetの学校に着きました。到着が遅くだったので、その日はチェックインをせずに寮へ行きました。翌日、チェックインをしました。その時私は、何を言われているのかわからなかった前回の時を思い出し、大丈夫かなと不安になりました。けれど、思ったよりスムーズに進み、5分もかからないうちにチェックインが終わりました。クラス分けのテストも思っていたよりでき、その中のスピーキングも自分が伝えられる範囲で先生に伝えることができ、自分で驚きました。その日のうちにクラス分けが発表され、私は前回の時よりも上のクラスに上がっていました。

2週間、私は同じクラスで色々なことを学びましたが、その中で一番驚いたことは「自分から話せる自分」でした。ある授業で、middle ageは40才からだと言った先生が言ったとき、私は「Why do you think so?」と先生に聞き、先生から「That's a nice question.」と言われた瞬間、自分から英語で質問できたことに気付きました。

この2週間のサマースクールで、私自身が思っていたより英語でしゃべれることがわかりました。周りからしたら少しだけかもしれませんが、通訳してくれる子がいなかったら全然何もできなかった前回よりは、大きな進歩だと感じることができました。

最後になりましたが、今まで2回もサマースクールに参加させてくれた両親と体験談を話してくれた妹、そしてたくさん支えてくださった方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。



Bede's Dickerでの午後のオブションアカデミーで選択した「写真」を撮るコースで撮影したものです。同じ被写体で数十枚、アングルや遠近感を少しずつ変えて撮りました。

いろいろな国の友達と学んで

武田 華穂さん



私は、7月22日から8月11日まで、スイスのタシスMSPに参加しました。

最初は友達ができるか不安だったけれど、成田空港で知りあった日本人や、ルームメイトのイタリヤ人の子ともすぐに仲良くなることが出来ました。

次の日、テストがありクラスが分けられました。授業は日曜日以外毎日あり、大変でしたが、楽しかったです。また、アクティビティでは、私はセーリングというスポーツを初めて体験することが出来ました。

一番楽しかったのは、8月1日のスイスの建国記念日で、みんなで船に乗り、踊ったりお菓子を食べたりしました。最後には、15分ほどある花火をみました。とてもきれいで感動しました。

最後の日の前日、発表会のようなものがあり、英語で歌を歌いました。その後、みんなで写真を撮ったりしているうちにもう別れるのだと思うと悲しくなり、泣きました。

今回の留学は、いろいろな国の人たちと一緒に学ぶことが出来、私の人生でとても大切な思い出になりました。



中学生最後のサマースクール

神原 璃穂さん



私は中学生最後のサマースクールで、イギリスを選びました。理由は、バックギンガム宮殿やビッグベンを見たかったからと、イギリス発音に慣れたかったからです。イギリスとアメリカは同じ英語圏ですが、発音が全く違います。私は小さいころからアメリカ英語をよく聞いていたので、イギリス英語でのリスニングが苦手です。なので、この2週間で少しでも慣れたいと思い、2度目のイギリスにしました。学校は違う所に行きたかったのですが、British Study Centresという初めての学校を選びました。

今回の学校で一番驚いたことは、中国人が多かったことです。全体の半分以上を占めていました。日本人は私を含めて4〜5人しかいませんでした。それにより、中国人と関わるが多かったのですが、皆優しく、「中国人は皆ひどい性格をしている」という偏見を持っていた自分に気付きました。改めて自分を見直すきっかけになりました。

私を4回も海外に行かせてくださって、本当にありがとうございました。

自分から話しかける

神原 小百合さん



7月21日～8月10日、イギリスでのBede's Summer Schoolに参加しました。

私は、今回イギリスでたくさんの方と話を学びました。1つは、「自分からあいさつをしたり、相手に話しかけたりすること」です。自分から話しかけないと、友達にもなれないし、なかなか会話が上達しないと改めて学び感じました。また、イギリスでは昨年よりも日本人が多かったのですが、外国人の友達も8割以上増えました。また、先生方もとても積極的で、なんでも話しかけてくださるので、毎日とても楽しく会話がはずみました。

昨年よりも、少し英語がついていたので、内容が分かりとても楽しむことが出来ました。来年はもっと内容が分かるように英語をしっかりと勉強したいです。

このような経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。



今年も海外サマースクールを実施します。

対象国：カナダ、アメリカ、イギリス、スイス

ご希望の方は5月末日までにお申し込みください。

(3月下旬から4月上旬に集中しますので、お早めに)

担 当 神原 ます美さん

T E L 084-987-1534

E-MAIL masumi.kambara2@tensha.co.jp



委員長
神原 勝成
Katsushige Kambara



委員
神原 秀明
Hideaki Kambara



委員
神原 文雄
Fumio Kambara



委員
イサラウタクン 広美
Isarawuthakun Hiromi



オブザーバー
神原 健人
Kento Kambara



オブザーバー
神原 祐利
Yuuri Kambara

コミュニケーション委員会 新体制

ファミリー総会2020を下記の通り予定しています。

開催日：2020年3月28日(土) 開催場所：神勝寺(予定) 開催時間：10:00～(予定)

成人おめでとうございます

日本と国外の架け橋に

末松 嗣夢さん



人生についての成功とは何か？ 70億人いる中で自分が人々のために残せるものは何か？ 小学3年生から10年間滞在した環境を卒業し、大学に入って社会を目の当たりにして考える事は、将来と世の中の事はかりです。とりあえず確信を持って言えるのは「世の中は広い」「上には上がいる」そして「世の中は自分が望んでいたほど平和で平等ではない」という事でしよう。自分で這い上がらなければどうしようもない、出遅れれば最先端を走る者たちに置いていかれるだけです。



今思えば、日本で育っていれば実らなかつたであろう思想、感覚、理解などをスイスで勉強し、身に付けられたことを心からありがたく思います。これからの時代、国内限定のビジネスの時代はもう遅れているというのは紛れもない事実です。この事実に基づいて、自分これから日本と国外への架け橋として、世の為、人の為、働けるよう、これからも様々な事に関心を持ち、触れ合い、実行に移せるよう頑張りたいと思います。20歳になったとはいえ、未だ未熟者。今後ともよろしくお願い致します。

父より

8歳、小学校3年生の1学期が終わる前からサマースクールに行かせ、あとはボーディングスクールに入ればなしでした。親らしいことは何もしてあげられませんでした。無事20歳を迎え嬉しく思います。

歴史ある学校のシステムやノウハウは素晴らしいものだと感じました。日々の生活の中で無意識に体験したそれらのことは、暗黙知ではありますが、きつと忘れることはなく、語学力や友達とともに、生の宝物となって成長を助けてくれるでしょう。

あなたが生まれた頃、インターネットが本格的に普及し始めた頃から20年の間は、どちらかと言えば生活を便利にし、世界の多くの国を豊かにしてくれる変化でした。しかし、今後は違うようです。社会の急激な変化を支えていた消費が価値に達し、地球環境の悪化で変化を求められています。さらに、AIやロボティクス、クラウド、量子コンピュータ、バイオサイエンス、その他多くのテクノロジーの進化によって、近代、そして現代を形作るシステムや経済が根底から変わることは確実でしょう。変化に取り残されてしまえば、歴史ある大企業であろうと、櫛の歯が抜けるように消え去ります。ユートピア

とディストピアが混在した、混沌とした未来になるのかもしれませんが。あなたたちは、文明の転換点とも言える大変な時代に、社会に出て行く最初の、そして重要な世代なのです。そんな未来に求められるものは何でしょうか。文明としてのサイエンスやテクノロジーは、ロードマップに沿って粛々と進んでいくでしょう。文化としてのアートとデザインのように、ある日突然世界を変えてしまうものもあります。魔法のようなSF的なものとともに、行動経済学やカオス理論のような科学に裏付けられた新しい哲学や、常識という価値観の転換を生み出すアートの視点が求められているのです。

進化だけではなく、廃棄物を極力出さないサーキュラーエコノミーや、動物の権利を守るクルエルティフリーなど、その他多くの根本的な問題の解決や、価値観の変化への行動が統々と生まれています。旧態依然とした政治や行政など、人が統治することが限界に達しているのであれば、それに代わる行政システムを民主的に作るオープンソース・プロジェクトが生まれるかもしれません。起こりつつある急速な進化や変化を正しく理解するには、歴史の時系列に沿った体系的な知識と分析的な視点が必要です。

二十歳を迎えられた
末松 嗣夢さん、藤原 瑞起さん、
そして親御さんからお言葉をいただきました。

私の変化に 乞うご期待!!

藤原 瑞起さん



20歳になりました！成人です!!
20歳になると体脂肪が減り始めるらしいです!! 嬉しい限りです！私の変化に乞うご期待!!

母より

20歳になった瑞起へ
子どもから大人へのさらなる成長を楽しみにしています。

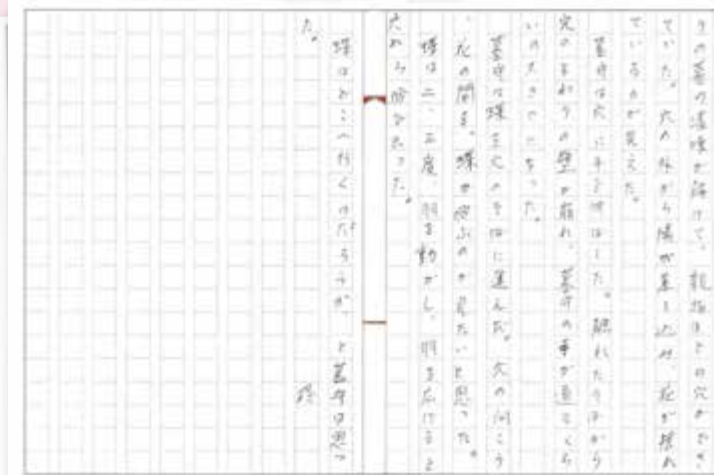


蝶と墓守

神原 寿理さん



神原 寿理さん



母より

寿理ちゃんと二人家族になってから初めての学校行事は二分の一成人式でした。

両親に見守られてひな壇にあがっている同級生に囲まれ、どんな気持ちでいたことでしょう。あれから10年近くたつて無事本当の成人の仲間入りをしてくれました。

これまでの20年を振り返ると悲しかったことや辛かったこと、悔しかったことばかりが思い出されるのではないのでしょうか？ 私自身も寿理ちゃんにたくさん辛い思いをさせて申し訳なかつたです。

今は難しいかもしれないけど、もう10年たった頃には周りの人にも自分がどれだけのことを許してもらったり、助けてもらったりしてきただかを思い、感謝できるように頑張ってくださいように。

そして20年、30年、50年たつ頃には寿理ちゃんが「私の人生つて結構おもしろくて、いいかも!」なんて思っていますように。



第5世代
リレー
エッセイ
Vol.4

今『大学生生活』に夢中です!



第5世代の方に、自分が「今」
好きなものを自由に紹介してもらいます。

武田 浩樹さん



>>> hiroki takeda

僕は今、大学生生活に夢中
になっています。別府で過
ごす大学生活が、まあ面白
い。去年まで何をしていた
のかと言うほどに楽しい。



>>>

平日は7時半に起きて学校
に行き、帰って来れば友達
とスケボーでサーフィンの練
習をし、疲れたら110円(入
湯料)と免許証を握りしめ
てバイクに跨り温泉に行く。
それから帰って料理をして、
夜にきっちり課題を済ませた
らすぐに寝る。

>>>

休日はいたってシンプルで、
朝の3時に起きて一路宮崎
へ。朝から夕方までサーフィ
ンして帰って来て寝る。
そんな生活サイクルに、今
とても充実感を得ています。

>>>

45度ある温泉も浸ければ
極楽。標高300mにある
大学も通えば都。漁師か
らもらうハマチも捌けばご馳
走。別府、最高です。

>>>

去年から変わった唯一のこ
とはアルバイトをしていない
こと。親のすねかじりもいい
ところですが、かじれるうち
にかじって将来うんと出世払い
します。
今は、大学生活を最大限
楽しみたいと思っています。



>>> 次回は、
神原 さくらさんに
リレーします。
お楽しみに!

